

# 要件定義書サンプル

## 第1 システム概要

(システムの概要を記載する)

### 1 システムの構成図

### 2 目的

(システム開発の目的や実現したい内容などを具体的に記述する)

### 3 用語定義

(要件定義書の理解に必要な言葉について定義)

## 第2 業務要件

### 1 業務実施手順

(業務を実施するために必要な体制や手順、業務フロー図などを記載)

### 2 規模

(システムの利用者数や単位(年・月・日・時間等)当たりの処理件数を記載)

### 3 時期・時間

(業務の実施時期や実施期間、実施時間などを記載)

### 4 場所等

(業務の実施場所や設備などを記載)

### 5 管理すべき指標

(業務の運営に必要となる指標項目や手法、頻度などを記載)

### 6 システム化の範囲

(システム化の対象となる業務の範囲を記載)

### 7 情報セキュリティ

(業務の内容に応じた情報セキュリティ対策を記載)

### 第3 機能要件

(導入するシステムの機能に求められる要件を定義し記載)

#### 1 機能

(処理内容、入出力情報・方法、入力・出力の関係などを記載)

#### 2 画面

(このシステムで表示される画面の概要や表示イメージなどを記載)

#### 3 帳票

(このシステムで入出力される帳票について、帳票の概要や表示イメージなどを記載)

#### 4 データ

(このシステムで取り扱う全てのデータについて、データモデル、データ定義、データの利活用方法、オープンデータの範囲・方法などを記載)

#### 5 外部インターフェース

(外部連携する場合のインターフェースについて、送受信データ名や送受信の条件などを記載)

## 第4 非機能要件

(導入するシステムに求められる機能要件以外の要件を定義し記載)

### 1 ユーザビリティ及びアクセシビリティ

(このシステムの各機能についてのユーザビリティ及びアクセシビリティについて記載)

### 2 システム方式

(クラウドサービス、ハードウェア、ソフトウェア、ネットワーク等の攻勢に関する全体の方針などの案を記載)

### 3 規模

(機器数、設置場所、データ量、処理券数、利用者数などを記載)

### 4 性能

(応答時間、バッチ処理時間などを記載)

### 5 信頼性

(稼働率等を記載)

### 6 拡張性

(このシステムの性能及び機能の拡張性要件を記載)

## 7 上位互換性

(このシステムを構成するOS等のバージョンアップ時におけるシステムの改修の許容度合などを記載)

## 8 中立性

(調達コストの削減、市場で容易に取得できるオープンな標準的技術または製品を用いる場合などの要件を記載)

## 9 継続性

(障害・災害等によるシステムの問題発生時に求められる機能、システム構成などを記載)

## 10 情報セキュリティ

(情報セキュリティ対策について記載)

## 11 稼働環境

(クラウドサービスの構成、ハードウェア・ソフトウェアの構成、ネットワークの構成などについて記載)

## 12 テスト

(システムの設計から運用開始に至るまでの全てのテストの種類、目的、内容、実施者、合否判定基準、テスト実施環境などを記載)

### 1.3 移行

(本番環境への業務移行、システム・データ移行について、移行時期、移行方法、以降対象などを記載)

### 1.4 引継ぎ

(このシステムの開発・運用等について、他の関係事業者への引継ぎに関する要件を記載)

### 1.5 教育

(利用者に対する教育について、教育対象者の範囲、業務実施手順、システム操作に関するマニュアルの作成などを記載)

### 1.6 運用

(このシステムの運用時間、障害復旧、運用管理方針などを記載)

### 1.7 保守

(このシステムを構成するクラウドサービスやハードウェア、ソフトウェア、アプリケーションプログラム等の保守、サポート体制などを記載)